



A"LINE

マルエーフェリー株式会社

会社概要

A"LINE

- ▶ 社 名：マルエーフェリー株式会社（旧：大島運輸株式会社）
- ▶ 設 立：西暦1953年12月1日（創業70周年）
- ▶ 主要航路：東京～（名古屋）～油津～志布志～沖縄
- ▶ 神戸・大阪～志布志～奄美大島～沖縄
- ▶ 鹿児島～奄美諸島～沖縄
- ▶ 支 店：東京支店（昭和37年10月開設）
- ▶ 沖縄支店（昭和44年2月開設）
- ▶ 大阪支店（昭和44年5月開設）
- ▶ 福岡営業所（昭和54年6月開設）
- ▶ 南九州支店（平成26年8月開設）



船舶紹介

A"LINE



フェリーあけぼの



フェリー波之上

鹿児島航路

鹿児島～奄美諸島～沖縄

奄美海運

鹿児島～喜界島～奄美大島～徳之島～沖永良部



フェリーきかい



フェリーあまみ

船舶紹介

A'LINE

阪神航路 神戸～大阪～志布志～奄美～沖縄



琉球エクスプレス2

(10,758トン)

デュアルハイブリッド推進システム

2014年12月13日就航



琉球エクスプレス5

(10,034トン)

水素燃料自動車搭載可能船

冷凍コンテナ監視モニター設置船

デュアルハイブリッド推進システム

2017年10月12日就航

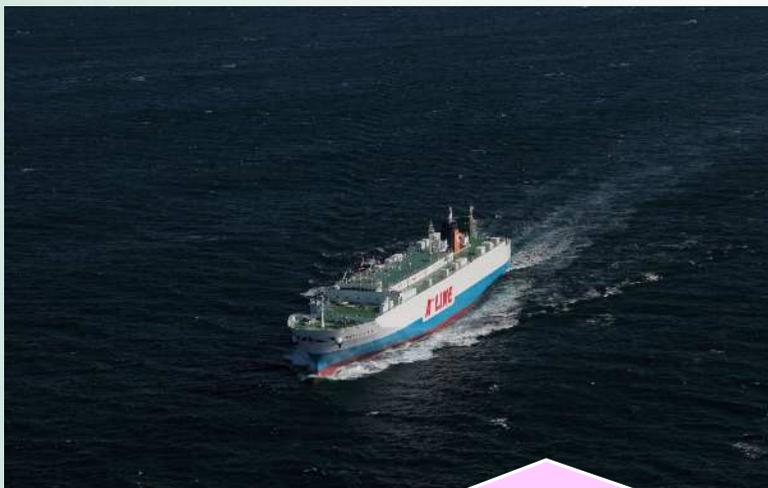
船舶紹介

A LINE

東京航路 東京～（名古屋）～油津～志布志～沖縄

積載能力

トレーラー148台
乗用車120台
電源100口



琉球エクスプレス3

(10,034トン)

デュアルハイブリッド推進システム

2015年12月3日就航



積載能力

トレーラー187台
乗用車204台
電源100口

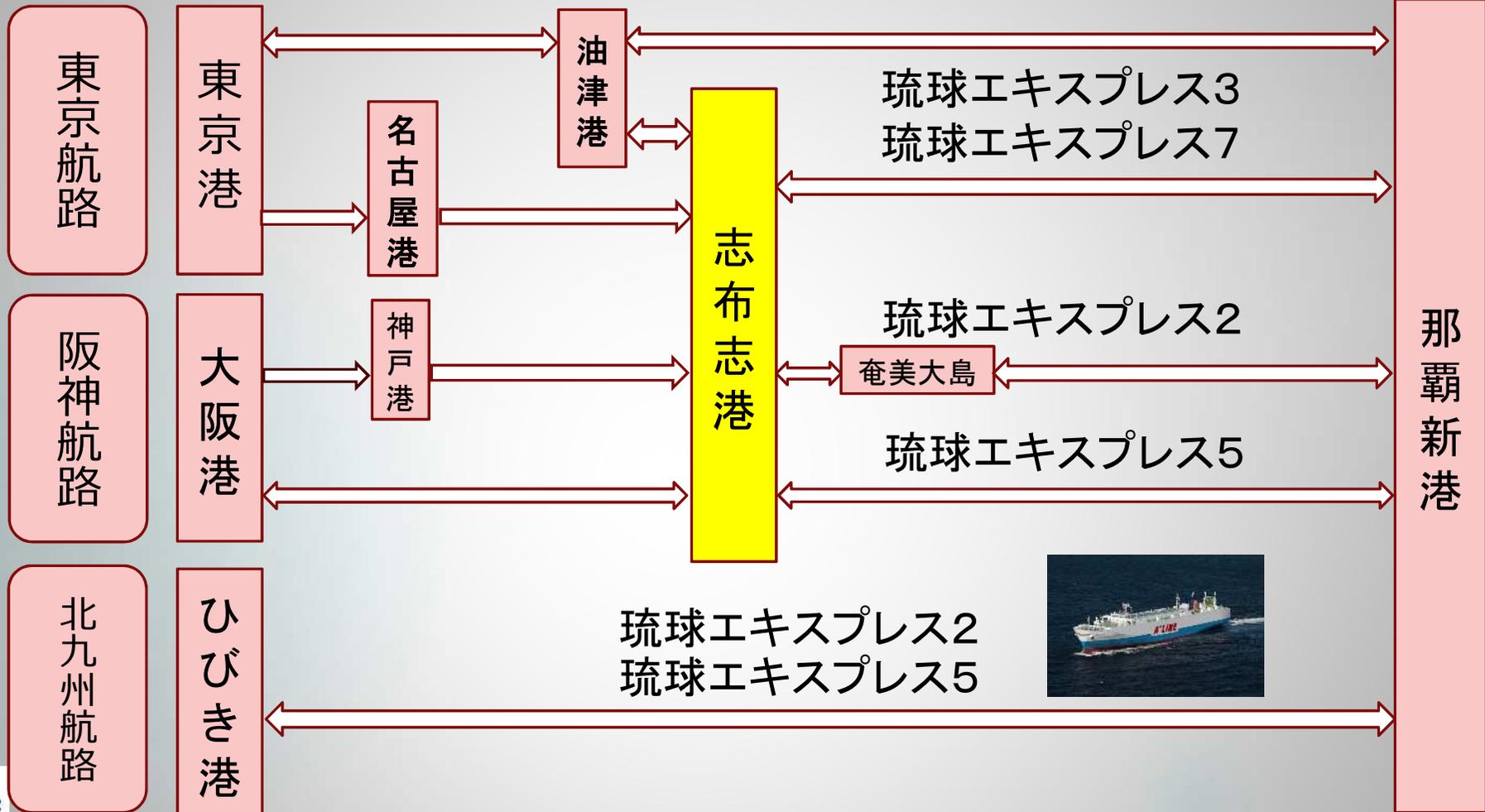
琉球エクスプレス7

(13,631トン)

2022年12月8日就航

航路の紹介

A"LINE



志布志港 航空写真

撮影日 令和2年2月
国土交通省九州地方整備局
志布志港湾事務所

※「(数字)」は水深表示

A"LINE

志布志市企業立地ガイドより



マルエーフェリー利用岸壁

新若浜地区

若浜地区

国際コンテナターミナル
岸壁80m延伸
令和4年1月 供用開始！
船舶の大型化に対応した
大水深岸壁(14m)の整備

外港地区

本港地区

新若浜地区
港湾関連用地

市臨海工業団地

市道上ノ浜・波見線
市道香月線
令和2年度
全線供用開始！

志布志市役所
R3.1～ 本庁舎移転

志布志有明I.C.
令和3年7月 供用開始！

都城志布志道路
令和2年度供用開始！
(南側I.C.～東志I.C./有明I.C.～志布志I.C.)

東九州自動車道
令和3年7月 供用開始！
(鹿屋車道JCT～志布志I.C.)

志布志港まで
わずか約2km

東九州自動車道

県道63号

(仮称)夏井I.C.

輸送機材紹介

A LINE



■20Fドライ
内寸(LWH mm):5,898×2,350×2,390



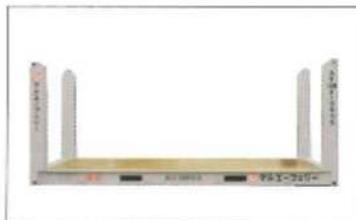
■12Fドライ
内寸(LWH mm):3,586×2,313×2,336



■10Fドライ
内寸(LWH mm):2,991×2,313×2,336



■20Fハーフ4柱
内寸(LWH mm):5,438×2,018×1,420



■20Fフル4柱
内寸(LWH mm):5,438×2,018×2,390



■20Fリーファ(冷凍)
内寸(LWH mm):5,445×2,240×2,235



■12Fリーファ(冷凍)
内寸(LWH mm):3,040×2,240×2,235



■40Fコンテナ台車
内寸(LWH mm):12,590×2,490



■12mウイングトレーラー
内寸(LWH mm):12,550×2,380×2,310



■12mセミトレーラー(アオリ付き)
内寸(LWH mm):12,510×2,390×785



■12m段落ちトレーラー
内寸(LWH mm):12,865×2,380×1,100

当社のご提供できるサービス

A LINE

海上輸送サービス

小ロットから大ロット迄、対応可能。

1トン単位から輸送可能です。

冷蔵・冷凍商品輸送

機材の貸出

(ウイングトレーラー、アオリ付平トレーラー、コンテナ・弊社船海上輸送に限る)



A"LINE

集荷・配達業務代行

全ての寄港地において、集荷・配達が可能です。
各港において、トラクタヘッドを準備しております。



奄美群島への輸送

志布志をハブ港として、東京・名古屋と奄美群島間の輸送が可能です。

A"LINE

ご清聴ありがとうございました

マルエーフェリー株式会社